

島根県の地震

平成30(2018)年1月

・震源要素(緯度、経度、深さ、マグニチュード)は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

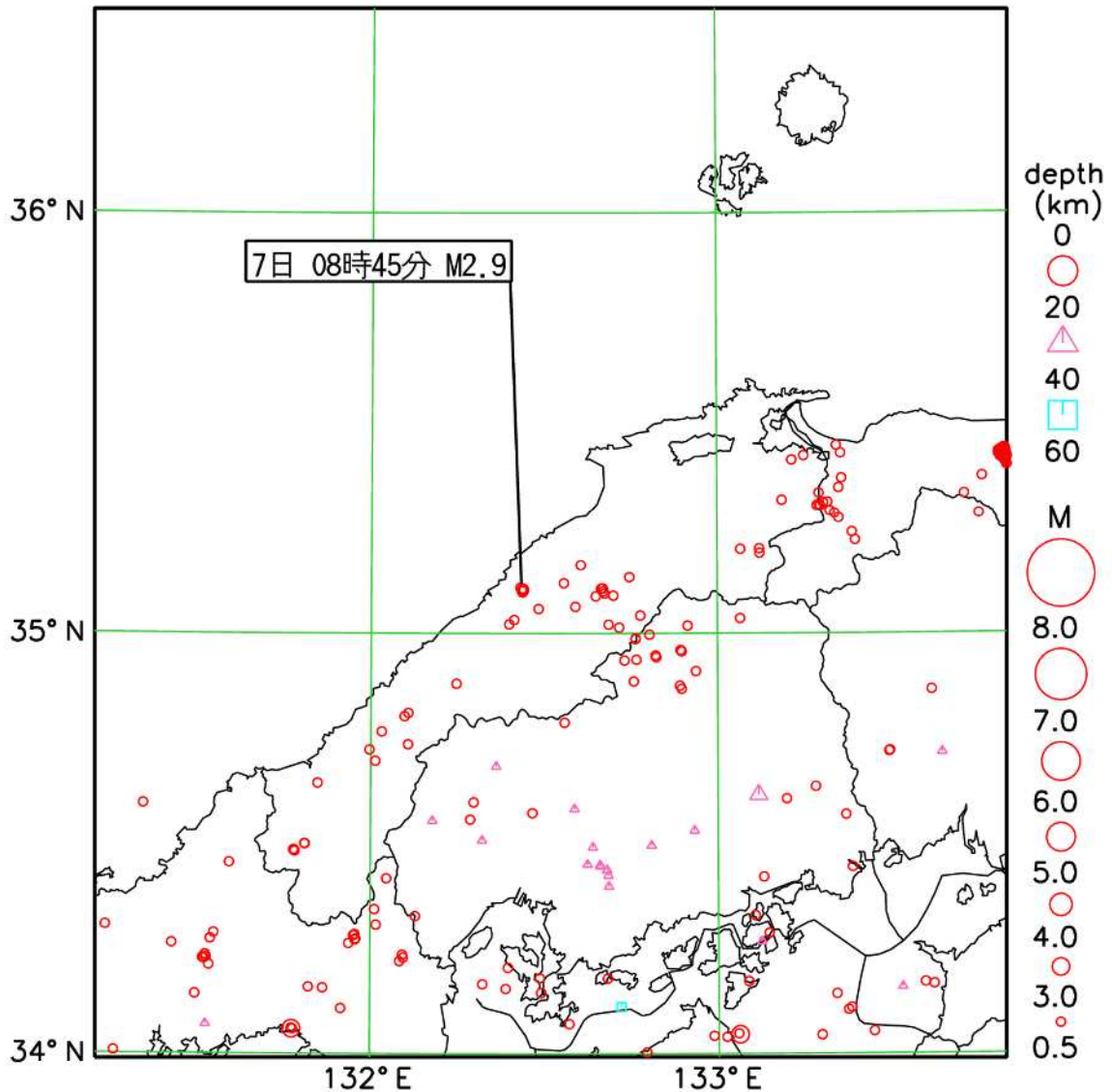
・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを利用しています。

松江地方気象台

島根県およびその周辺地域の地震活動 2018年1月1日～31日

2018 01 01 00:00 -- 2018 01 31 24:00

N=271



[概況]

今期間、M0.5以上を観測した地震は271回（12月は273回）でした。

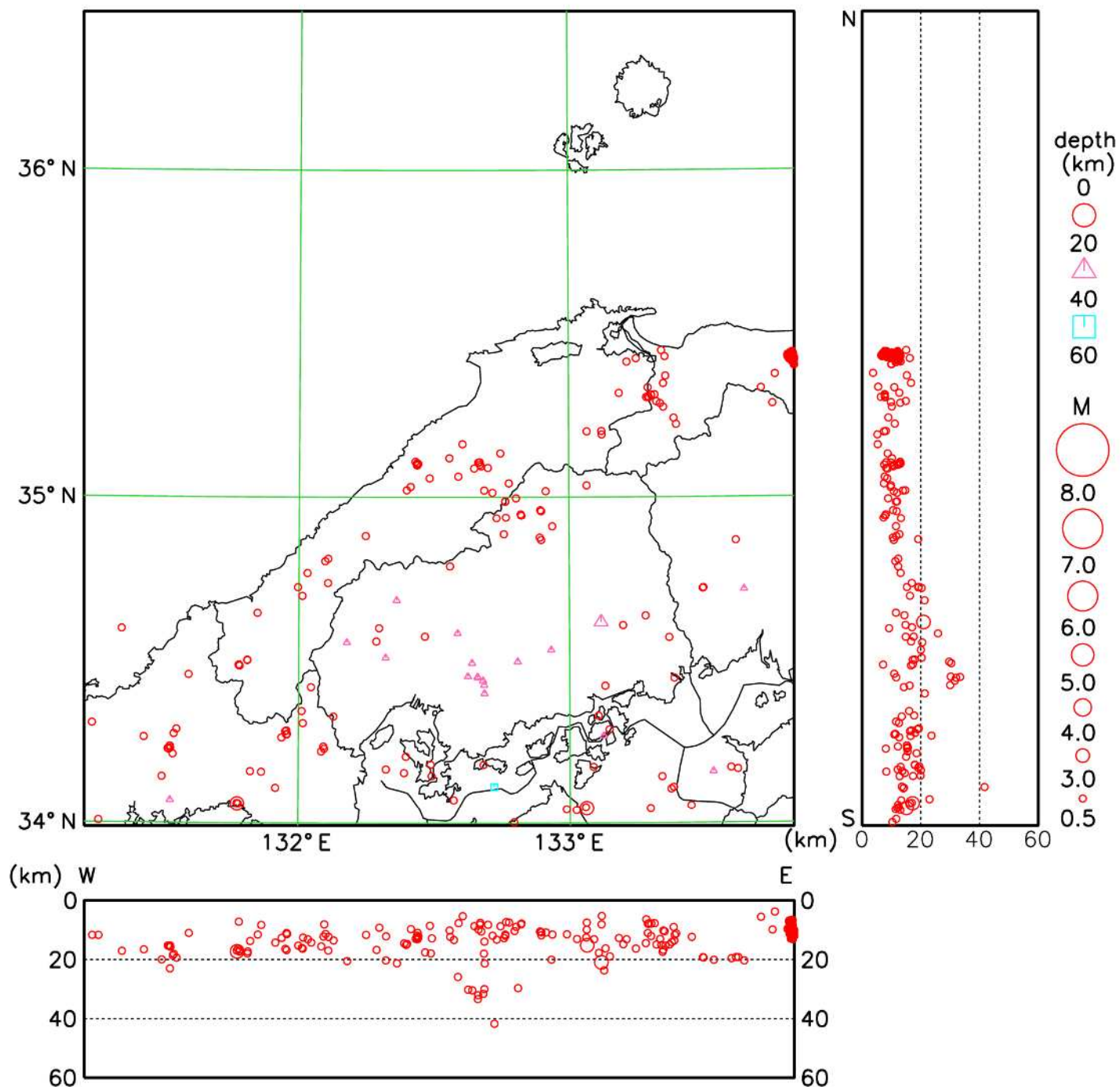
また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、2回でした。

7日08時45分 島根県西部の地震（深さ13km、M2.9）により、大田市・川本町で震度1を観測しました。

9日05時52分 伊予灘の地震（深さ57km、M4.3：地図範囲外）により、益田市・邑南町・吉賀町で震度1を観測しました。また、山口県周防大島町で震度3を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度2～1を観測しました。

[断面図]

2018 01 01 00:00 -- 2018 01 31 24:00



1月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2018年01月07日08時45分 ----- 地点震度 -----	島根県西部	35° 06.2' N	132° 26.2' E	13km	M2.9
島根県	震度 1：大田市仁摩町仁万*，大田市温泉津町小浜*，川本町川本*				
2018年01月09日05時52分 ----- 地点震度 -----	伊予灘	33° 46.5' N	132° 12.3' E	57km	M4.3
島根県	震度 1：益田市常盤町*，邑南町淀原*，吉賀町六日市*，吉賀町柿木村柿木*				

・地点名の後に*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

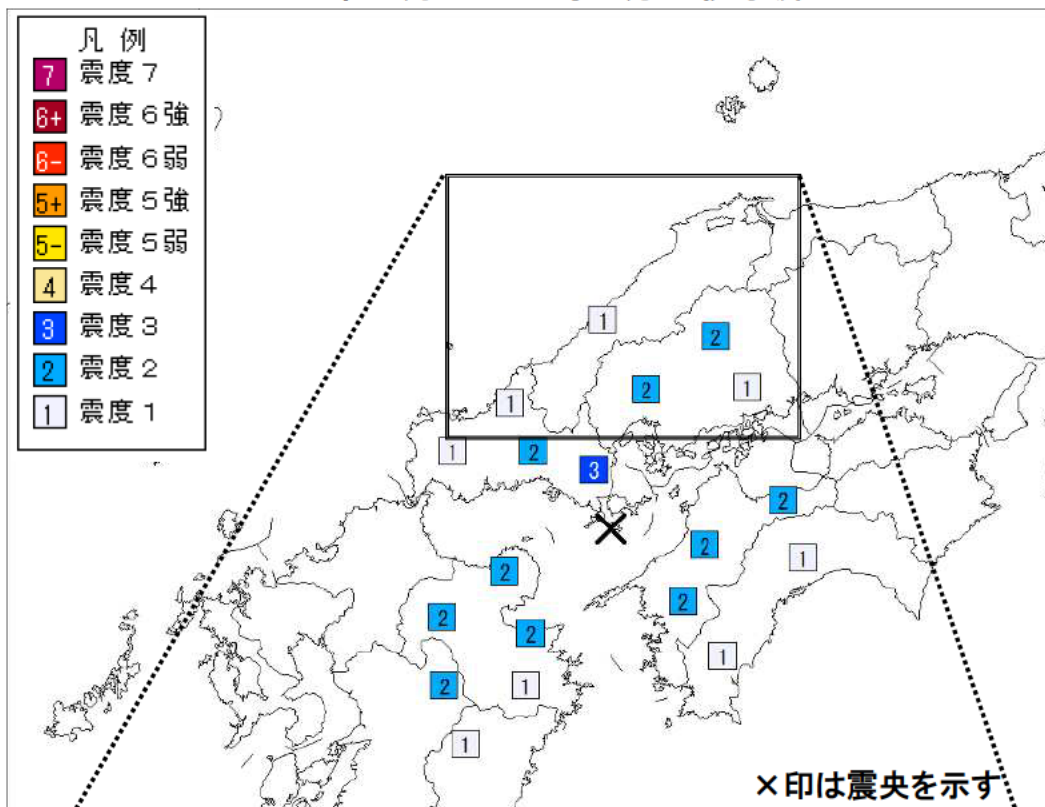
【観測点震度分布図】

2018年1月7日08時45分 島根県西部



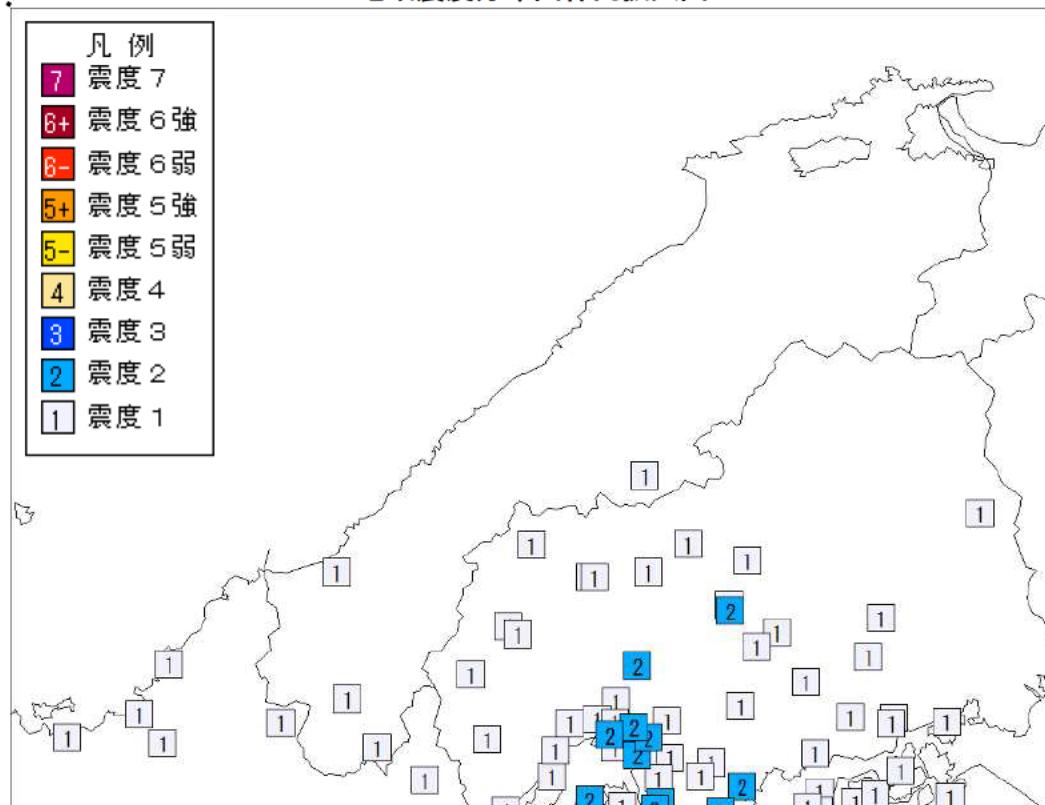
【地域震度分布図】

2018年1月9日05時52分 伊予灘



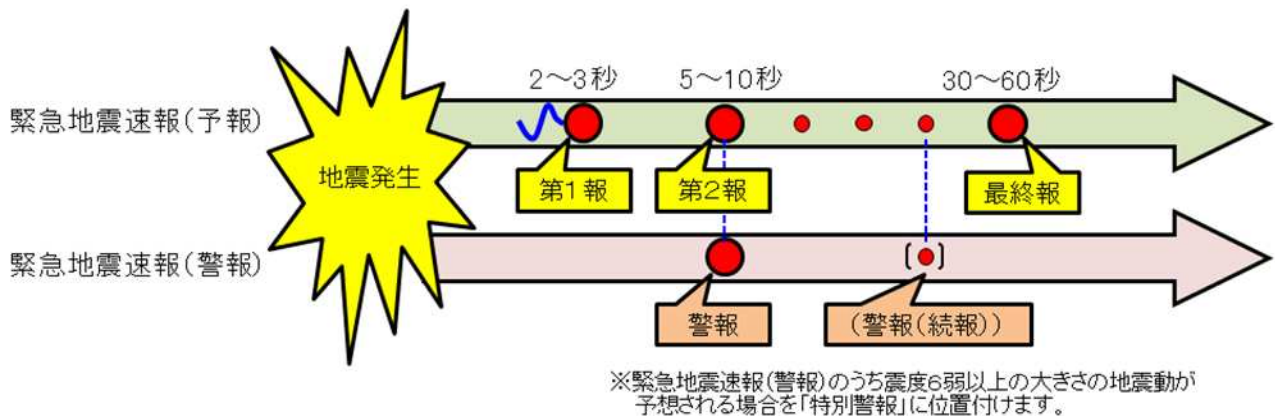
【観測点震度分布図】

地域震度分布図枠内拡大図



緊急地震速報 ~ 警報と予報 ~

緊急地震速報とは、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早くお知らせする情報のことです。この緊急地震速報には、大きく分けて「警報」と「予報」の2種類があります。今月はこの緊急地震速報の警報と予報について解説します。



緊急地震速報（警報）

一般に、テレビ・ラジオや携帯電話・スマートフォンのエリアメールで見聞きする緊急地震速報が「緊急地震速報（警報）」です。

気象庁では、平成19年10月1日からこの緊急地震速報（警報）の発表を始めました。

平成25年8月30日から震度6弱以上を予測した緊急地震速報は「特別警報」に位置づけられていますが、通常の警報と区別せず発表します。

緊急地震速報（警報）

- ・発表条件：地震波が2点以上※1の地震観測点で観測され、最大震度5弱以上※2と予想された場合
- ・発表内容：地震の発生時刻、発生場所（震源）の推定値、発生場所の震央地名
強い揺れ（震度5弱以上）が予想される地域及び震度4※3が予想される地域名※4

※1 地震計の機器障害や、落雷等による誤報を避けるため。

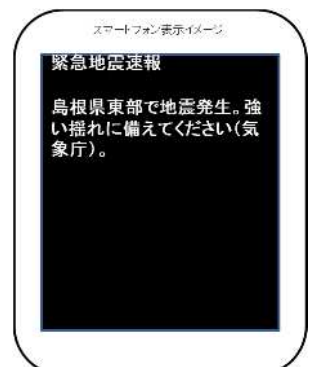
※2 震度5弱以上になると顕著な被害が生じ始めるので、事前に身構える必要があるため。

※3 震度±1程度の予測誤差と、震源域の断層運動の進行により、しばらく後に震度5弱となる可能性を伴うため。

※4 島根県は「島根県東部」、「島根県西部」、「島根県隠岐」。

※具体的な予測震度と猶予時間は発表しません。

携帯電話・スマートフォン等で、右図のような緊急地震速報（警報）のエリアメールを受信した場合、それはまさに自分に強い揺れが迫っていることを示します。エリアメールではテレビ・ラジオとは別の報知音が鳴ります。この報知音は各携帯電話会社共通です。緊急地震速報（警報）が発表されたことがすぐにわかるよう、携帯電話会社のホームページで、報知音を視聴しておくことが大切です。



○緊急地震速報（予報）

緊急地震速報（予報）は、機器制御などへの活用のほか、各家庭用の端末などで受信地点の予測震度や主要動到達予想時刻などを表示するなど、個々の地震防災のニーズに合わせた利用がされています。

緊急地震速報（予報）は、地震を検知してから数秒～1分程度の間回数発表（5回～10回程度）します。第1報は迅速性を優先し、その後提供する情報の精度は徐々に高くなっていきます。ほぼ精度が安定したと考えられる時点で最終報を発表し、その地震に対する緊急地震速報の提供を終了します。

緊急地震速報（予報）とは、このような技術的な限界や特性等を十分理解したうえで利用することが推奨される情報です。

緊急地震速報（予報）

- ・発表条件：いずれかの地震観測点において、P波またはS波の振幅が100ガル以上となった場合
または、観測された地震波を解析した結果、震度・マグニチュード・各地の予想震度が求まり、そのマグニチュードが3.5以上、または最大予測震度が3以上である場合
- ・発表内容：地震の発生時刻、発生場所（震源）の推定値、マグニチュードの推定値
予測される最大震度が震度3以下のときは、最大予測震度
予測される最大震度が震度4以上のときは、地域名（警報の地域名と同じ）に加えて、震度4以上と予測される地域の予測震度及びその地域への強い揺れの到達時刻の予測値（主要動到達予測時刻）

発表された緊急地震速報については、気象庁ホームページに掲載されています。

緊急地震速報の発表状況 ⇒ 「気象庁ホームページ」→「知識・解説」→「緊急地震速報について」
→「発表履歴」

<http://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/rireki/rireki.html>

→「緊急地震速報（警報）の発表状況」又は「緊急地震速報（予報）の発表状況」



緊急地震速報の発表状況

このページには、緊急地震速報の発表状況に関する資料を掲載しています。

緊急地震速報の発表状況

- 緊急地震速報（警報）の発表状況
これまでに緊急地震速報（警報）※1を発表したすべての地震について、緊急地震速報の内容と、主要動到達までの時間の地図を掲載しています。（平成19年10月1日9時～、速報値）
（発表から掲載まで10～30分程度かかります）
- 緊急地震速報（予報）の発表状況
最近1ヶ月間に気象庁が発表した緊急地震速報（予報）の内容を掲載しています。（速報値）
（発表から掲載まで10～30分程度かかります）
- 緊急地震速報を発表した地震の月別回数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成29年	0 (77)	0 (72)	0 (61)	0 (60)	0 (52)	1 (55)	1 (79)	1 (73)	2 (52)	1 (53)	0 (57)	-	6 (691)
平成28年	1 (76)	0 (71)	0 (65)	20 (228)	1 (101)	2 (89)	0 (95)	0 (71)	1 (80)	3 (92)	2 (124)	1 (86)	31 (1178)